

# インスパイア フューエルインジケータ インストールマニュアル

## UC-1 用 (V6 3.0)

「フューエルインジケータ」をご用命頂きまして、ありがとうございます。  
シロートの拙い工作物ですが、その辺りは笑って許してくださいませ。  
楽しいカーDIYの一つとして、お楽しみ頂けると幸いです。

2005 / 9 M相良

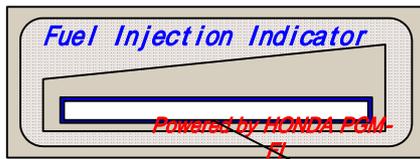
### 取り付け時の注意

1. 電装系のDIYは誤配線があると、最悪出火等の可能性が有ります。  
説明を良く読んで、トラブルの無いようにお気をつけ下さい。
2. エアバックが標準装備されている為  
センサーが生きている間に、不要なショックを与えると、エアバックが作動したり  
非常に危険を伴います。  
  
必ず BATTのマイナス端子を外し。 3分以上待ってから作業して下さい。
3. ご自分での取り付けに自信がない場合、有る程度のスキルをお持ちの方と  
一緒の作業をお勧めします。
4. 個人的にお分けする物です。 製品保証等、一般の製品に有する保証関係は、  
いっさいありません。 その分、お安いと言うことで ご理解下さい。

誤接続以外の問題で、本体の初期動作不良が認められた場合のみ  
交換をいたしますので、ご連絡下さい。

5. ディーラー、カー用品店等への取り付け依頼は、おそらく断られると思います。(爆)

上記を怠ったため、発生した 問題・事故 等につきましては、作業される方の  
責任の範囲内とさせていただきます。  
その点の保証等はいっさいいたしかねます。ご了承下さい。



「燃料インジケータ部」  
緑4個、黄3個、赤1個のLEDで、0.5秒間隔の燃料噴射量を表示します。  
フューエルカットが働いた時には全消灯します。  
噴射量が最小・アイドリング時には 緑1個  
噴射量が最大時には 全点灯します

## 内容の確認

1. ユニット本体。  
黒(または白)のプラケースに基板が収納されています。  
赤・黒・白・茶の4本の線が出ています。  
中間に中継コネクタが付いています。  
赤のコードにヒューズが付いています。1Aです。
2. インジケータ部  
黒のプラケースに、LEDが組み込まれています。  
1-2は シールド線で接続されています。
3. ワンタッチカプラ 4個

## 別途必要な物

1. 電源取り出しケーブル 1本  
電源取り出しを、ヒューズBOXから行う場合  
電源取り出しKITが必要です。  
用品店等で、ヒューズBOX電源取り出しケーブルを購入します。  
(10A用)  
ヒューズBOX内 No.20から取り出します。  
他にIGN+12Vを取り出す箇所をお持ちの場合、そちらに  
準じた物を使用して下さい。  
シフトインジ取り付けされている方は、黒・赤・茶 についてはシフトインジの配線へ直結出来ます。  
ワンタッチコネクタで、接続してください。  
白はECUへ接続の必要が有ります。

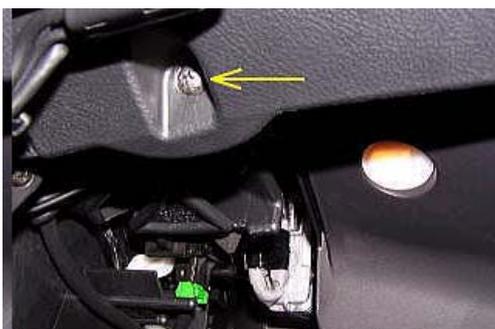
## 必要な工具

1. プラスドライバー  
・フロントロアパネルを外すために使用
2. プライヤー  
ワンタッチコネクタの取り付けに使用
3. 10mmソケットレンチ等  
アースを取り付けるために使用

## 取り付け手順

1. インジケータ部の取り付け  
インジケータを好みの位置に張り付けます。
2. ECUとメインユニットの接続
  - (1) センターコンソール下部パネル(左右)を外します
  - (2) メインユニットの信号線(2本)を ECUのカプラにワンタッチコネクタを使用して、接続します。  
シフトインジを使用されている方は 茶線は、シフトインジの茶で接続します。
3. 電源の取得
  - (1) IGN+12Vを接続します
  - (2) ボディーアースを接続します  
シフトインジを使用されている方は、黒・赤 共にシフトインジの黒・赤へ接続します。

### 1. インジケータ表示部の取り付け



ハンドル下部のカバーを外します。  
ビスを外し、下に引くだけ



はまっているだけのアンダーカバーを外します。  
これで、ハンドル下にユニット格納、配線の取り回しが可能です。



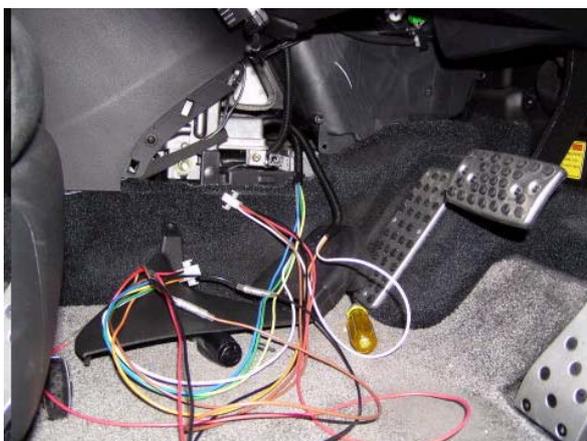
表示部は、お好きな位置に設置してください。  
設置箇所により、コードの取り回しは工夫してください。

- ・ダッシュボード上
- ・メータパネル内
- ・ハンドルコラムカバー上など



センターコンソール下部左カバーを外します。

カバー奥のピンを外します。  
カバーを引っ張れば外れます。



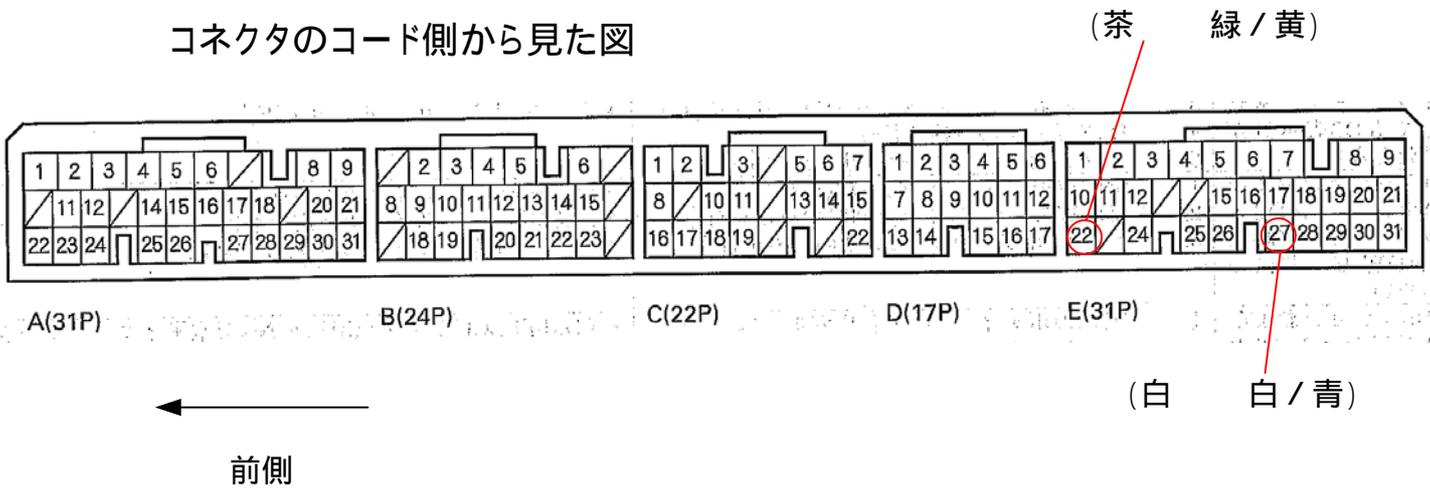
センターコンソール下部右カバーを外します。

コードを運転席側に出すため、右カバーを外します



カーペットをめくりECUが見えたら、カブラを引き抜きます。  
上部のツメを下向きに押さえながら引っ張り出す形になります。

## コネクタのコード側から見た図



### (1) Eカプラに接続

- ・ユニットの茶 を E - 22 (ハーネス色 緑/黄)
- ・ユニットの白 を E - 27 (ハーネス色 白/青)

ユニットの配線を、ECUのカプラのハーネスに接続します。

このとき、ワンタッチカプラを使用します。

ハーネスは、黒いテープ等で巻いてあるので、少し剥がした方が、取り付けしやすいです。

ここの接触不良、配線間違いがあると、正しく表示が出ません。(要注意)

- - - 重要な注意 - - -

保護テープを剥がす時、カプラで割り込ませる時、十分注意してください。

いい加減な作業で、ECUのハーネスを切断したり、破損したりすると、最悪の状況になります。

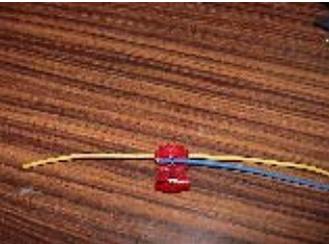
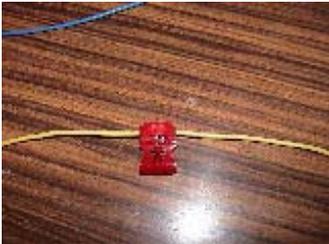
この点がきちんと出来ないおそれが有る場合、取り付け自体をあきらめてください。

このトラブルを含め、問題が発生しても、責任は取れません。

この点だけは、ご了承下さい。



## ワンタッチカブラの使用例



## ワンタッチカブラの使用法

・ワンタッチカブラは、配線の割り込みに使用します。

1. 溝が左右に切っただけの方に、元の配線をかませます
2. プライヤーで、片側をかしめます。
3. 割り込ませる配線をもう一方にかませます。
4. しっかり、かしめて 完了。

黄色の配線が、ECUのハーネス  
青の配線が ユニットの配線  
に相当します。

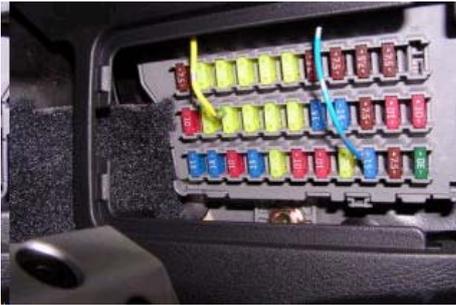
非常に手を入れずらい、狭いところでの作業になりますが  
コードを斜めに挟んでしまったり、プライヤーで挟んで  
しまったりなど、十分 注意しましょう。

ここで、元のハーネスを切断等してしまうと  
走行不能になるおそれもあります。  
十分、注意してください。



電源は、ヒューズBOXから、取り出しケーブルを使用するのが一番簡単です。

ヒューズ取り出しKITはホームセンターや用品店で入手できます。  
10A用を使用します。  
ヒューズ部が大きい物と小さい物が有ります  
小さい方ですので間違えないようにして下さい



ヒューズカバーを外し、No.20へ差し込みます。  
No.20は、7.5Aヒューズが刺さっているのを差し替え、ユニットからの赤線を接続します。

アース(黒線)はボディーアースの取れるボルトへ共締めします。

シフトインジをご利用頂いてる場合。  
同一の箇所へ接続可能です。  
ワンタッチカプラ等で接続してください

カバーを全て戻す前に、次ページの動作チェックを行ってください。

これで、取り付けは完了！  
あとは、動作確認だけです。

## 「動作チェック」

### 1. 全く表示しない 一切点灯しない

- ・IGNへの接続は正しいですか
- ・GNDの接続は正しいですか  
特に、GNDの接続不良は原因になりやすいです。

- ・ユニットの赤線に黒いヒューズBOXが付いています  
ねじると、1Aのヒューズが入っています。  
切れている場合、入れ替えてください。  
再度切れてしまう場合、配線の確認をしてください

### 2. アイドリングで1個の時、2個の時、2個目が点滅してる特

- ・気温が低い場合、始動直後はアイドルUP等により、多少ガソリンが多めに出ます  
アイドル回転が 1000回転以下に落ち着いてくると、1個のみ点灯に成ってきます。

### 3. 走行時に全く点灯しないことが有る

- ・その場合はガソリンが出ていません
- ・エンジンが暖まっている状況では、エンジンプレーキ状態の時に、燃料供給が止まります  
速度が下がって、回転も下がると 今度はエンスト防止のために、アイドル状態に戻ります。  
減速時に積極的にシフトダウンすることで、意識的にフューエルカットさせることも出来ます。

### 4. 端のLED点滅する

- ・燃料の使用量が直近の表示値と近い所でふらついている場合、点滅しているように見えることが有ります。  
全く正常です。

### 5. 気筒休止の場合

- ・噴射量表示は実態に合わせて 約半分になっています。  
気筒休止状態を掴むには、シフトインジケータ(別製品)のCSS表示を利用できます。